

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

迎春

皆様には良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます
昨年は 新型コロナウイルス警戒宣言の期間が長く 多くのイベントが中止となりました
今年は 感染症拡大防止に対応しながら 高尾山の豊かな森林を教材とし 森林の大きな機能 大切さを
学べるイベント・森林教室の実施ができますよう願っております
また展示室・木工体験室（クラフト体験）も開館日をご確認のうえ ご利用いただくと幸いです
令和4年元旦 高尾森林ふれあい推進センター所長 池田 修

高尾山頂からのご来光



高尾山のいきものたち

オオタカ

(タカ科)

すべるように飛び、きりっとした眼で精悍な鳥。平地から山地の林や河川などに留鳥として棲み、体長は50～60cm程。頭や背、翼の上面が灰黒色で目の後ろが黒く、眉班が白い。胸や腹など下面は白く、飛び姿は白く見える。獲物は中小型の鳥や小型哺乳類など。飛翔能力が優れ、直線的に速く飛ぶが急回転も得意で、鳥を空中で捕える。

オオタカが生きるためには、餌となる多くの鳥などが必要で、その鳥はたくさんの動植物を食べる。そのため多くの生き物を育む豊かな自然環境が必要である。最近、野山の豊かな森が減ったため都市部のハトなども狙うようになった。野山でオオタカが見られたら、そこはまだ豊かな自然が残っているという証だ。

(森林インストラクター 藤原 裕二)



公募イベント リース作り



12月2日（木）に毎年恒例の公募イベント「リース作り」が開催されました。内容としては、11月の「つるかご編み」イベントで使用した「つる」の余剰分を再利用して作ったベースに木の実等をトッピングしていくというものです。森林林業にとっては厄介者のつる類ですが、今日ばかりは一躍主演の座に躍り出ます。

当然のことながら、自然のつるを利用して作られたベースは、大きさ・太さ・ねじれ具合・編み込み方等がすべて異なります。そこに天然の木の実・枝・枯れ葉等をトッピングしていくと、市販のリースとは比べものにならない質感が生まれてきます。

参加者は、作業が始まると一様に無言となります。あまりにも静寂過ぎるので、たまたま司会者が「皆さん、ちゃんと呼吸していますか?!」と訪ねた瞬間、爆笑の渦が発生しました。

全員が無事に作業を終了した後、皆さんの作品を並べ「鑑賞会」。テーブルいっぱいに並んだリース達は想像以上に迫力がありました。そして全員で写真撮影を行って解散となりました。今年も参加者の家々はオンリーワンのリース達で彩られることでしょう。（磯）



午前の部の皆さんの作品です



午後の部の皆さんの作品です



リース作り、楽しんでま〜す

森林教室

西東京市立 向台小学校

西東京市立向台小学校5年生154名の森林教室を、日影沢キャンプ場と周辺の国有林を利用して行いました。大人数のため児童を2グループに分け、11月29日と30日の2日間での実施となりました。

森林観察は6班に分かれ国有林内を観察。人工林と天然林の違い、木の生長などを目にしてもらいながら学習。「ひつつき虫」と呼ばれる様々な植物の種を服にくっつけたり、アザミの種子を飛ばしたりしながらコースを一回りしました。他の学校と同様、サワガニ探しは全員夢中でした。タゴガエルの声を聞くことができた班もあったようです。

座学では、SDGsについても触れたことで、環境問題にも興味を持ったようです。「林野庁の仕事はやりがいがありますか。」などの鋭い質問もありました。

丸太切りでは、始める前に丸太を抱えてもらい木の重さを体験。「うわ！重たい！」などの反応がありました。本番の丸太切りでは、上手に鋸を使って輪切りを作成し、お土産に。

閉校式では、児童から「丸太切りが大変だった。仕事で木を切ったりしている林業の人はすごいと思った。」「植物の名前をいろいろ教えてもらった。」

これから自分でもっと調べてみたい。」などの素晴らしい感想をいただきました。（高）



植物を熱心に観察



見事に切り落とし！

森林教室

東村山市立 化成小学校

12月14日（火）、東村山市立化成小学校の5年生85名が森林教室に訪れました。

当日は昼も気温が上がらない寒い日でしたが、キャンプ場に到着した児童のみなさんは、開会式で一斉に元気よく「今日は高尾山のことをたくさん勉強するぞ〜」と気合いのかけ声を響かせていました。

全員を二組8班に分け、午前中は一組4班が管理棟内での「森林学習」と「丸太切り」、別の一組4班がいろはの森遊歩道などを歩く「森林観察」に出発。森林学習では、事前に学校でSDGsなどの学習をしてきたようで、職員の解説にうなずく児童も多かったです。

管理棟前での丸太切りでは、少し降り出した雨や寒さにもめげず、合羽を着ながら一生懸命丸太切りに挑戦する姿が印象的でした。今回は直径15cmぐらいの太い丸太もあり苦戦する児童もいましたが、最後まで自分の力で切り落としたときには皆満足げな顔をしていました。

森林観察は、分かれた班ごとに職員が一人ずつ付き、森林や動植物の解説をしながら進みます。途中でいろいろな質問をすると競うように答えが返ってきました。職員も合羽を着て寒い中での観察でした

が、それを忘れてしまうぐらいの元気さでした。

閉校式では「今日はたくさんを知ることができてよかった。」「学校の周りとは違う自然いっぱいの中で学習できて楽しかった。」などの感想が出され、開校式での気合いのかけ声とおりの達成感を得られた様子でした。（枝）



それって学校で事前学習しました！



雨にも寒さにも負けず、ひたすら…

森林教室

中野区立 中野本郷小学校

12月16日（木）、中野区立本郷小学校の児童58名を6グループに分け午前中は森林観察、午後は2グループに分かれて森林学習と丸太切り体験を実施しました。

午前中の森林観察では、樹木や植物の説明を聞きながらアオキの種を飛ばす遊びに夢中になったり、歩道途中の沢では、サワガニを見つけることができず悔しがるグループもありました。全員とても元気が良く、中には「このまま山頂まで歩きたい!」と言う児童もありました。

森林学習では、国有林の説明のほか、林野庁や森林官の仕事、高尾山の動物たち、木材の生産、森林とSDGsのつながりなどを説明しました。質問の時間には、「森林を守る仕事をしていてよかったと思うことはありますか。」などの質問もあり興味津々の様子でした。

丸太切り体験では、用意した丸太がいつもより太めで切るのにひと苦労といった感じでしたが、

全員2枚以上切ることができました。切った輪切りはまだ乾燥していないので、皮を剥いてお土産にします。この皮剥きも面白いらしく、みんな夢中で皮剥き！

今回もフォレストサポートスタッフの方々にご協力いただき無事終了となりました。（岩）



丸太を薄く切ったら透けてきれい！



鋭い質問も飛びだした森林学習

12月17日（金）に、中野区立令和小学校5年生86名の森林教室を実施しました。明け方から降り出した雨は、児童たちが到着する頃には時折日が差す天気となり予定どおりに開催することができました。開校式では、児童代表から「森林観察で人工林と天然林の違いを学び、丸太切りでは森林を手入れしている人たちがどれだけ大変か体験したい。」等の挨拶があり、森林教室で色々なことを学びたいとの思いを感じることができました。開校式終了後、2グループに分かれ、一つのグループは、念のためカッパを着て森林観察へ出発。雨上がりの滑りやすい林内で見事に滑ってしまった児童もいましたが、なかなかできない体験を楽しんでいました。

一方、森林学習と丸太切りのグループは、森林学習で森林の働き等について静かに学んだ後、丸太切りでは一転元気よく大きな声を出しながらノコギリを引いていました。午後は、午前中とグループを交代し予定した森林教室を無事に終えることができました。閉校式では、数人の児童から感想が述べられ「森林の働きなどを学ぶことができ森林が大事だということがわかった。今日学んだことを生かし自然を大切にしていきたい」、「丸太切りでノコギリの

使い方がわかった。丸太に触れて木の感触、木の優しさ、香りを感じる事ができた。木で作られた物を大切にしたいと思った」等、森林教室を通して色々なことを学んでくれたようです。（谷）



かわいい子ガニを見つけたよ！



揺らすと種が出てきたぞ！

高尾陣馬特別警戒

今年も高尾陣馬特別警戒連絡協議会の構成員として、東京神奈川森林管理署職員5名と当センター職員2名が山火事警防に参加。大晦日から元旦にかけて高尾山頂と小仏城山区間を交代で巡回。何事もなく無事終了しました。（高）



無事終了し御来光を浴びる参加メンバー



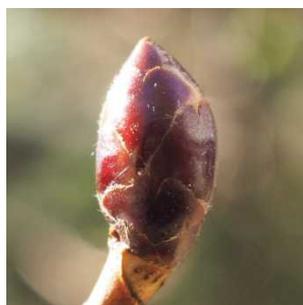
真っ暗闇の中、巡回出発！

編集後記

冬芽観察の季節となりました。芽の形や色など、花や種とは違った楽しみ方ができます。

今年こそ新型コロナに振り回されず、普段の生活に戻りたいものです。

フサザクラの冬芽



Forest通信 NO.395

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

